

令和4年度生野区区政会議(第1回くらしの安全・安心部会)

主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:令和4年5月31日(火)

場所:生野区役所6階 大会議室

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
役を担っている方々が固定化されると中身が変わっていかないので、いろんな方に関わっていただきながら、しっかり防災防犯の取組みというのは実行していくべき。	各地域における自主防災組織と連携し、引き続き取り組んでまいります。
コロナ禍の影響で防災訓練ができていないので、学校の統廃合で、以前の防災マップにある学校を使用できないのが一番の問題。	避難計画などが記載されている地区防災計画を、地域・区で見直しをすすめており、今後、計画に合わせて防災訓練を実施してまいります。
少なからず年に数回は、消防、区役所、行政の協力を得て、防災訓練を実施していくべき。	各地域での防災訓練に合わせ、消防による実技指導を行っていくほか、防災リーダーへの研修・訓練など、様々な訓練を実施してまいります。
外国人の方が、災害で避難きたときに避難所で多言語化された説明などが必要。	外国人被災者への対応等について(公財)大阪国際交流センターと連携し、多言語指さしボード等を避難所で活用するほか、区で所有するipadを活用した翻訳支援を行うこと等を想定しております。
防災マップが、4・5年前のものになり、当時は、外国籍の方々、いわゆる言葉の通じない方々のことまで考えていなかったように思う。今後の課題だと思う。	防災マップの再作成の際にはピクトグラムの活用や多言語化も含めて検討してまいります。
高齢者の方の世帯に、いろんな方が来られるので詐欺グループだったり、電話に出てオレオレ詐欺の被害にあわれる方も多いため、危ない。	啓発物品として「振り込め詐欺防止手形電話機用POP」(電話機に取り付ける啓発物品)を作成しており、地域包括支援センターやケアマネジャー等に配布し、あわせて電話機に取り付けて啓発を行っていただくようにしております。
自転車の乗り方や道の歩き方のマナーが悪いので危ない。	地域や生野警察署と連携し、啓発に取り組んでまいります。
独居老人の方をサポートしづらい体制だったり、耳が遠くなってインターホンが聞こえなかったり、電話が鳴っても気づかない世帯があるので、おうちの中でパトランプなどが光って、インターホンが鳴ってるよとか、電話が鳴ってるよって言う仕組みが良い。	ご提案いただきました、音が聞きづらくなった高齢者の方を対象にした仕組みについては、具体的な仕組みとしてはございませんが、国の障害者福祉事業として、聴覚障がい2級の方を対象とした「聴覚障害者用屋内信号装置」の給付事業は行われています。独居されている高齢者の方へのサポートは、地域福祉の観点からも大切なことと認識しております。いただいたご意見については関係局にお伝えさせていただきます。

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>町会に未加入の方々がいたり、集合住宅ができて管理会社のオーナーを通じてでないとい何もできないという世帯があり困っている。</p>	<p>町会への加入を促進するために、地域特性を踏まえた対策が必要であると考えており、地域の取り組みなどへの周知方法、参加促進を踏まえうえて地域とのつながりの重要性を啓発してまいります。</p>
<p>高齢者の一人住まいの健康状態、生活状態の確認、安否確認は、町会老人部の協力をもってこそ成せるのではないか。</p>	<p>区内には19の地域社会福祉協議会があり、ふれあい喫茶、食事サービス、ふれあいサロン活動等、高齢者の方々の健康増進や生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げるための活動にご尽力をいただいているところです。引き続き各町会での見守り活動もお願いいたします。</p>
<p>コロナ禍で100歳体操等の行事ができないので、ご近所の老人の方々の健康状態が心配である</p>	<p>100歳体操等地域における高齢者が集う事業につきましては、感染対策をとったうえで順次再開が図られているところです。今後も実施の工夫による事業継続、関係機関との連携の上、閉じこもり予防、介護予防の場の確保に努めてまいります。</p>
<p>外国人で漢字と平仮名が読めない人が増えている中、回覧板を読むことが出来ない世帯が増えてきている。何かできたらいいかなということもありますけど、町会にゆだねられるとできる人がいないので負担になる。</p>	<p>生野区では、増加する外国人住民の方にも伝わるよう多言語や「やさしい日本語」による情報発信に心がけております。 各まち協にお願いしております回覧板につきましても、「やさしい日本語」などを活用し簡潔でわかりやすい文書となるよう努めてまいります。</p>
<p>外国籍の労働者・学生の住民がかなり増えてきています。東南アジア系の人増加や住宅を購入される外国人の方も少しずつ増えてきています。 朝鮮・韓国の方だけでなく、他の文化圏の方も混じってきているので、コミュニケーションに困ったり、生活文化の違いに私たちが馴染むこともできずに困っている。また、この二年間、そういった方々と一緒に地域を交えて参加してもらおう行事などができていない。コミュニケーションがとれる取り組みを地域でもしたい。 他にも、異東にある大阪わかば高校、いわゆる外国にルーツのある学生さんを受け入れる二部制の高校との連携が必要。</p>	<p>生野区には60か国に近い外国籍住民が暮らしており、お互いの文化や生活を理解、尊重することで、誰もが安心を身近に感じて暮らせるものと考えております。 引き続き、多文化の共生できるよう交流の機会や情報の発信を行ってまいります。 また、区内の高等学校とも連携を進めており、様々な形で「つながり」コミュニティの創出に努めてまいります。</p>